

第一回まちづくり協議会総会を行いました



5月27日の総会の様子

用之江公会堂において、53名の参加を頂き議事を進行。

平成23年度活動報告と決算

- ①「まちづくり協議会」は、平成24年2月22日の設立総会以降、平成24年度活動案及び予算案の作成を主体に8回に亘る協議を行ないました。
- ②用之江公会堂の2階を事務局として拠点化する為の事務備品整備費を執行しました。
- ③「城見地区まちづくり協議会かわら版」創刊号を平成24年3月に発行しました。

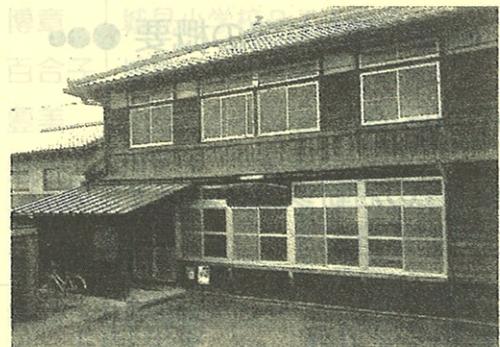
①②③の合計決算額は42万3千円でした。

平成24年度事業計画案及び予算案

運営事業費

会の運営のための経費107万4千円

- 備品費 (エアコン, 椅子, 机等)
- 通信費 (郵便, 電話, インターネット等)
- 光熱, 消耗費 (電気, 印刷機インク, 紙等)
- 人件費 (時間拘束の有る方への補助)
- 広報費 (かわら版の発行など)



事務局は用之江公会堂の2階

活動事業費

24年度は2つの部会にしほって活動します。

◆安全・安心部会◆

～活動の焦点～

犯罪, 火災, 交通災害, 自然災害ゼロ!!

- 1年目 活動の基盤づくり
- 2年目 活動展開を強く行う
- 3年目 活動の定着を狙う

1年目活動予算：61万円

実行組織

- 金浦中学校PTA (代表者1名)
- 城見小学校PTA (代表者1名)
- 保育所保護者会 (代表者1名)
- 自主防災会 (各地区1名)
- 城見消防団 (各地区1名)
- 婦人防火クラブ (各地区1名)
- 青色防犯パトロール隊 (各地区1名)
- 老人会 (各地区1名)
- 交通安全協会 (代表者1名)
- 茂平工業会 (代表者1名)

◆ふれあい部会◆

～活動の焦点～

- 1年目 史跡めぐり散策ガイドマップ作成
大見山への用之江ルート整備
- 2年目 定期的な史跡めぐり
大見山への大宜ルート整備
- 3年目 定期的な史跡めぐり
大見山への茂平ルート整備

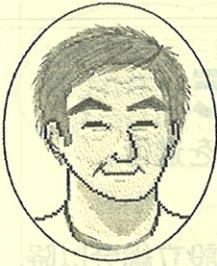
1年目活動予算：88万4千円

実行組織

- 自治会 (各地区1名)
- 行政協力委員会 (各地区1名)
- 子ども会 (各地区1名)
- スポーツ少年団 (代表者1名)
- 婦人協議会 (代表者1名)
- 公民館 (代表者1名)
- 社会福祉協議会・民生・児童委員 (代表者1名)
- 愛育委員協議会 (代表者1名)
- 栄養改善協議会 (代表者1名)

安全・安心部会の活動方針

部会長の自己紹介 部会長：松浦朝陽



① 住民の高齢化が進み、犯罪や自然災害に対して緊急避難が困難なことや、道路幅が狭く、交通災害の危険性が高いなど、城見地区には多くの問題があります。

② 3年計画で、4つのゼロ災害目標を立てて、事業活動を計画しています。

③ 啓蒙看板の設置や防犯パトロールの強化、各種講習会などを計画しています。

④ 城見地区のみんなが安心して暮らせるための、安らぐ地域づくりを、皆様と一緒に作っていきたいと思います。ご意見やご要望もどしどしお寄せ下さい。

●●● 活動内容の概要 ●●●

活動のねらい

1. 地区住民の活動参加率の向上を図り、ゼロ災害を目指す

参加率

1年目：20%

2年目：40%

3年目：80%

ゼロ災活動

犯罪ゼロ

火災ゼロ

交通災害ゼロ

自然災害ゼロ

2. 守りの活動(受身は身につかない)から、攻めの活動(ゼロ災のための技を磨く)

犯罪：大声で注意！

火災：出火させない

交通災害：ルールを体に覚えさせる

自然災害：想定災害と少しずつの対策



朝の登校風景

1年目の活動内容

1年目の平成24年度は「活動の基盤づくり期」と位置づけて以下の活動を行います

●ハード面：啓蒙看板を主体にゼロ災に必要な機器・備品の整備を行い、活動の「見える」化を図る。

●ソフト面：活動内容の宣伝と、活動し易い組織づくりを図る。

ふれあい部会の活動方針

部会長の自己紹介 部会長：坂本 健



① 東日本大震災以降、絆の大切さを全国で唱えるようになりました。絆の煩わしさを排除してきた事が行き過ぎの現在になりました。隣近所の絆から取り戻す必要性を感じています。

② 山、田畑の耕作放棄地の増加、他人への無関心、子どもの減少等多くの課題が地域にあります。

③ 年齢構成が上がる地域社会を考えながら若手、高齢者の融和と互助の精神を呼び起こす事業を手がけたいと思っています。

④ 現在66歳ですが、今までお世話になって来た地域の皆さんに、何か恩返しをするべく、過去の人生経験が生きるような活動を推進していきます。

●●● 活動内容の概要 ●●●

活動のねらい

1. 自分達の地域の歴史や文化を知る事で、城見地区のふれあいと交流を図る。

2. 様々な世代の住民が一緒に行動する事で、親睦と交流を深め、互助の機運を高める。

1年目の活動内容

1年目の平成24年度は「ふるさと再発見と健康ウォーク」の活動を行います

① 地域の史跡巡りの散策ガイドマップの作成

② 大見山への登山ルート（1年目は用之江ルート）の整備と「ふれあいウォーク」の実施



大見山の散策ができるように整備中です。皆さんと共に見晴らしの改善を行いたいと計画しています。

平成24年度城見地区まちづくり協議会役員・代議員名簿

役職名,氏名	各種団体	役職名,氏名	各種団体
会長		代議員	
加藤 晃祐	用之江元自治会会長 / 防犯連絡協議会	福田 和則	城見台 行政委員長
副会長		中村 雅信	城見台 自治会顧問
坂本 健	大宜 行政委員長 / 自主防災会長	藤原 明子	城見地区愛育委員協議会 会長
城戸 英晴	用之江 前行政委員長	柳本 スミ子	城見地区栄養改善協議会 会長
松浦 朝陽	茂平 行政委員長 / 自主防災会長	大本 美佳	城見地区婦人協議会 会長
福武 諄	城見台 自治会 会長	松浦 邦人	城見地区老人クラブ連合会長
監事		前川 清次	城見台 老人会 会長(末広会)
松浦 稔侑	大宜 前自治会 会長	細川 嗣彦	用之江 老人会 会長(鶴亀会)
大本 忠志	茂平 自治会 会長	松浦 良治	茂平 老人会 会長(百笑会)
谷口 勝美	城見台 前自治会 会長	太田 由美子	金浦中学校PTA副会長
顧問		本田 博章	城見小学校PTA会長
坂本 公明	笠岡市市議会議員 / 社協地区支部長	清水 百合子	城見保育所保護者会 会長
大本 益之	笠岡市市議会議員	松浦 豊美	大宜 子ども会 会長
松尾 清文	城見小学校 校長	秋田 直宏	用之江 子ども会 会長
代議員		縄稚 ひろえ	城見台 子ども会 会長 / 事務局員
坂本 富則	城見公民館 館長	篠原 聡	茂平 子ども会 会長
藤井 和男	大宜 自治会 会長	松岡 敏春	城見地区スポーツ少年団 団長
松浦 洋子	大宜 婦人会 会長	城戸 洋子	城見地区婦人防火クラブ会長
坂本 正樹	大宜 消防団城見分団 副分団長	山本 泰弘	城見地区交通安全協会城見支部長
藤井 陽介	大宜 小学校PTA 副会長	水川 創壊	城見地区青色防犯パトロール隊長
伏見 省三	用之江 前自治会 副会長	市川 敏幸	茂平工業会 《(株)正文社印刷所》
藤井 保之	用之江 自治会 会長	松浦 利通	城見地区民生委員 / 児童委員協議会長
三好 秀人	用之江 行政委員長 / 自主防災会長	大本 敏昭	消防団城見分団 分団長
松浦 興旨	茂平 前行政委員長	小川 昭広	城見台 自主防災会長
坂本 光洋	茂平 コミュニティー協議会 会長	塚本 真一	市役所 地域担当職員(総務課)
高田 厚典	茂平 自治会役員	松浦 宏幸	市役所 地域担当職員(財政課)
小川 敦子	城見台 前行政委員長	北野 宏臣	市役所 地域担当職員(建設企画課)

事務局員の紹介 城見台 縄稚ひろえ (城見台子ども会会長)



「城見地区まちづくり協議会」の事務局員をさせて頂くことになりました縄稚ひろえです。私は独身時代より手描きPOPライターという職に就いており、紙とマーカーで自由に楽しく仕事をしていました。いつしか時代はデジタル化され、手描きはPOP作成機へと進化し、以後パソコンの面白さを覚えてきたのもこの頃でした。しかし、いくらデジタル化されても手描きの持つアナログには奥深い温かみがあります。「まちづくり」においても、情報化、効率化された時代だからこそ、画一的なつきあいではなく、人と人との直接の繋がりやふれあいといった事が大切になってくると思います。いろいろな過去の経験を活かし、このまちづくりの一環に役立てていければと思っております。

城見地区まちづくり協議会

笠岡市用之江334番地
TEL 0865-66-5133

事務所の開設時間

毎週火曜日の午前9時から12時まで
在室しております。
お急ぎのご用件等は、まちづくり協議会の郵便受けをご利用ください。

こんな町であいたい…地域の方々の声 10代のお子さまをもつ保護者の方々の意見です。

茂平地区でのインタビュー

せめて向う三軒両隣とは
気がねなく生活できる
ようになればいいな。

何か事件が起きてから
でないとなんもしない
ような町はいけないね。



用之江地区でのインタビュー

子どもたちが
安心して遊べるような
環境作りを切実に願うわ。

昔のようにウチの子も
よその子もみんな一緒に
めんどろ見合えるような
つきあいがしたい。



大宜地区でのインタビュー

近所に暮らす
高齢者のことが
心配でたまらない。

災害があった時、
元気な私たちが助けて
あげられるだろうか。



城見台地区でのインタビュー

マナーを守れる住民が
増えて美しい団地に
なればいいな。

となり近所に
「みりんが無い 借りてこよう」
というぐらいの関係の構築が
できれば…。



連載 ふるさと城見のあれこれ (其の壱)

この連載は、城見地区の「あれこれ」を紹介します。

文責 用之江・前城見公民館長 安藤清孝

ここ城見地区に住む者として、触れ合いを深めながら、ふるさとを深く知り、ふるさとを愛する気持ちを大切にしたいものです。

初回は「岡山県小田郡城見村」というかつての村名の由来となった「大見山」について紹介します。

大見山は標高169.76メートルで、県界の山を除くと城見地区で一番高い山です。測量の基準点となる三角点が設置されています。

「大見山」という呼び名は、もとは大宜地区のもので「大宜山」と呼ばれることもあったようです。用之江地区の人たちは「唐松山」といい、茂平地区の人たちにとっては「木原(きはら)」ということになります。江戸時代からの3村(大宜村、用之江村、茂平村)の交界点となる山でした。

明治22年(1889年)

に3村が合併して、ひとつの村となることに決まりました。新しい村の名前をどうするかということになり、代表数名で大見山から地域全体を見渡し

て考えよう、ということになりました。大見山からは西に福山の城が望め、東に古城山が見えたそうです。そこで、村の名前を「城の見える村」ということから『城見村』と決めたとのことです。

以前は小学校の遠足コースのひとつになっていて、毎年登っていたそうです。

おおみやま
大見山からの展望



写真は「えいちゃん笠岡を走りまぐる」から